

執筆者紹介

市川清史（いちかわ きよし）准教授

- ▽『剣南時代の岑参』（二松学舎大学院紀要 二松）3）▽『岑参と銭起・郎士元について』（二松学舎大学院紀要 二松）10）▽『郎士元について』（日本中国学会報）48）▽『李益』『春日晉祠同聲會集得疏字韻』詩について（『学苑』799号）

大倉比呂志（おおくら ひろし）名誉教授

- ▽『平安時代日記文学の特質と表現』（新典社）▽『物語文学集攷―平安後期から中世へ―』（新典社）▽『中世日記紀行文学全評釈集成』第二卷（共著 勉誠出版）▽『校注 風に紅葉』（共編著 新典社）▽『風に紅葉考―百花繚乱する〈性〉への目差し―』（武蔵野書院）

鳥谷知子（からすだに ともこ）教授

- ▽『上代文学の伝承と表現』（おうふう）▽『宇遅能和紀郎子伝承の考察―第四二番歌謡・第五一番歌謡を中心に―』（学苑）915号）▽『月立ち』考―倭建命と美夜受比売の唱和歌謡について―（『学苑』927号）

久下裕利（くげ ひろとし）名誉教授

- ▽『平安後期物語の研究』（新典社）▽『変容する物語』（新典社）▽『狭衣物語の人物と方法』（新典社）▽『源氏物語絵巻を読む―物語絵の視界』（笠間書院）

▽『物語の廻廊―『源氏物語』からの挑発』（新典社）

- ▽『王朝物語文学の研究』（武蔵野書院）▽『物語絵・歌仙絵を読む』（武蔵野書院）▽『源氏物語の記憶―時代との交差』（武蔵野書院）

嶺田明美（みねだ あけみ）准教授

- ▽『形容詞「高い」の使用実態について―「強い」「大きい」などとのゆれの可能性の指摘―』（学苑）893号）▽『近代小説等における「く」ではありませんか』類と「く」ではないですか』類の使用頻度について（『学苑』855号）▽『第4章 日本語学関連サイトの紹介』（講座 ITと日本語研究7 ウェブによる情報収集 明治書院）▽『第6編第4節 方言』（『作手村誌 本文編』愛知県新城市・作手村誌編集委員会）▽『視線』『視点』と『目線』（『学苑』809号）

山本晶子（やまもと あきこ）教授

- ▽『馬瀬狂言資料の紹介（10）―『馬磔』について―』（学苑）929号）▽『馬瀬狂言資料の紹介（9）―追いつみの演出―』（学苑）905号）▽『馬瀬狂言資料の紹介（8）―『花子』について―』（学苑）891号）▽『馬瀬狂言における中央と地方』（昭和女子大学文化史研究）12）▽『狂言における化粧―顔を彩る演出―』（『女性文化と文学』所収 御茶の水書房）

吉田昌志（よしだ まさし）教授

- ▽『泉鏡花「美と永遠」の探究者』（日本放送出版協会）▽『新日本古典文学大系明治編・泉鏡花集』（共編著 岩波書店）▽『新編泉鏡花集』（共編著 岩波書店）▽『鏡花随筆集』（編著 岩波文庫）▽『泉鏡花素描』（和泉書院）